

じいちゃんへ

ラジオネーム…赤べこ

私の知っているじいちゃんは、いつも笑顔でしたね。

入植した土地で酪農を営み、

バリバリと働いていた姿は見たことがなかったけど、

リタイアしてからは畑と庭いじりが趣味だったんだよね。

思い出すのは、腰を労わるように後ろ手を組んで

ニコニコと庭を散歩してる姿。

夏が近づくとじいちゃんが手入れしていれるグズベリに

実が付くのがとても楽しみでした。

子どもの頃は、実にビーチボールのような縦の線が入ると

どうしても味見がしくて、じいちゃんにまとわりついては

「グズベリ、食べていい?」って聞いて。

じいちゃんはその度に

「まだ早いよ。茶ブドウみたいに赤くならないと。

今食べても、ふふふ、酸っぱいよ、ふふふ」と

言うので、ほんとかなあと思って「ツツソリ食べたら

本当に酸っぱくて。

今でも小さくて酸っぱい果実を食べるよ、

じいちゃんのニコニコ顔を思い出すんですよ。

畑ではキャベツやネギ、白菜、大根、ジャガイモなど、8人の子供と多くの孫たちに行き渡るよう、毎年どっさり作って、みんなに配ってくれたよね。

身体が動かなくなるまでそうしてくれたのは、

寒く、やせた土地を開拓し、苦勞が多く、

食べていくのも大変だったじいちゃんが、

子供や孫たちには食べ物に事欠かないよう気を配ってくれたからなんだよね。

私も親になって、食べさせていくことの大変さをしみじみと感じています。

じいちゃん、長年みんなに深い愛情を注いでくれて、本当にありがとう。

どうかこれからも、私たちを見守っててくださいね。

へ 君は花 / 松山千春 へ

(グズベリ…グズベリ、グズベリ、セイヨウスグリなどと呼ばれています。)